

その昔、鎮西八郎為朝(ちんぜいはちろうためとも)が黒髪山の大蛇退治に向かう際に祈願を行ったという説は有名だ。そして、願成就に、その役目を果たした証に大蛇の歯、うろこがお寺に奉納された、という。大蛇の歯は、5年に一度、夏季に一般公開され、今年はその公開年にあたる。

○お不動さん春祭り(火渡りの行)

2月22日(日)※毎年2月の第4日曜日

○お不動さん夏祭り(5年に一度「大蛇の歯」公開)

8月23日(日)※毎年8月の第4日曜日

杉岳山不動尊 大聖寺(あじさい寺)

☎0954-36-4934



※若木町の女山峠方面からが便利です。

心身を清める

自然と調和した清々しい雰囲気漂う「大聖寺」は、約1300年前の奈良時代初期に、清らかな水源がある場所に開山された。そこで育まれた神木や紫陽花といった見事な景観は、今日も四季折々に訪れる人を魅了する。

そんな大聖寺の旧正月に行われる「火渡りの行」は、身を清め、一年の厄を払う気迫を感じる行事だ。焚き木の残火を素足で渡る。一見、過酷な修行のようだが、子供から大人まで、一年間の無病息災を願う誰もが参

加できる。とはいえ私は思わず、熱くないのですか、と聞くと、住職の杉岳覚昭(すぎたけかくしろう)さんは「ピリツと刺激がありますが、強く念ずれば病や災害も跳ね除けられる。大事なのは揺るがない心です。」と答えてくれた。

武雄人らしさの原点はとも言える活力源のような、大聖寺の魅力を改めて見つけられた。一年を実りあるものとするため、今年もその「願いの火」を渡ってみようと思う。